令和8年度 第3回技術研修会のご案内

日　　時　令和８年１１月６日（金）１３：３０～１６：３０

会　　場　アバンセホール（佐賀県立生涯学習センター）

（佐賀市天神３丁目２－１１ TEL 0952-26-0011）

主　　催　公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構

後　　援　佐賀県、(一社)佐賀県建設業協会、(一社)佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会

研修項目　(1) １３：４０～１５：００

「変わりゆく有明海～長期データから読み解く水環境と生産力の変化～」

佐賀大学理工学部理工学科（都市工学部門）

准教授　　ウォンタナースントーン　ナルモン　　氏

有明海は、広大な干潟と大きな潮位差を有し、ノリ養殖やアサリ、タイラギ、サルボウなどの二枚貝漁業を支える豊かな海として知られている。しかし、近年はノリ不作や二枚貝の漁獲量の激減など、有明海の生産力に変化が生じている。

本講演では、1970年代以降の観測データと水質解析モデルから得られた計算結果をもとに、過去から現在までの有明海の水温・塩分・栄養塩などの変化について説明する。さらに、これらの水環境の変化が貧酸素化や二枚貝の生息にどのようにつながっているのかを解説し、河川流域から海域までを一体として捉える有明海の環境保全について紹介する。

(2) １５：１０～１６：３０

「佐賀市の液状化リスクについて」

佐賀大学理工学部理工学科（都市工学部門）

講師　　根上　武仁　　氏

近年、各地で大規模な地震が頻発し、大きな地震被害が発生している。地震による地盤の液状化現象はその被害の原因の一つである。液状化については、液状化しやすい砂層が堆積していることと、液状化により地上構想物が被害を受けること、の二つの事象は全く別物であることに注意が必要である。本報告では、令和８年7月28日に起きた熊本地震についても触れる。佐賀平野の地層状況とこれまでの地震の発生状況から、佐賀市南部の液状化のリスク評価に関する考察について示す。

対 象 者　地方公共団体等職員、建設事業関係者（県内優先）、一般の方（大学生以上）

定　　員　３００名

参 加 料　無　料

申込方法　当機構のホームページ（https://www.sagacat.or.jp/gijyutsukensyuu.html）よりお申し込みください。１社につき３名まで受け付けます。

『研修情報』→『技術研修会』→『令和8年度第3回技術研修会申込』をクリック！

申込期間　令和8年10月13日(火)14:00～令和8年10月23日(金)17:00

（定員になり次第締め切り。定員に満たない場合は次の期間に追加募集を実施予定。）

令和8年10月26日(月)14:00～令和8年10月28日(水)17:00

問合せ先	（公財）佐賀県建設技術支援機構　技術部　企画情報課 ＴＥＬ　０９５２－９７－５５９６
そ の 他	(1)車でご来場される場合は、会場敷地内の駐車場をご利用下さい。 (2)座席は全席指定席となります。

※本研修会は、(一社)全国土木施工管理技士会連合会CPDS、(プログラム番号1118118　形態コード101-2　3ユニット　※形態コード101-2は年間取得6ユニットの上限があります)の認定プログラムに承認されています。(一社)建設コンサルタンツ協会CPDの認定プログラムに申請しています。